

観光立国の実現は地方から

ネットエージェント 大手3社トップ鼎談

ネット流通が観光



最後に手数料の話をお願いしたい。宿泊業界はネットエージェントの力が伸びて、手数料率を引き上げていると危言を吐いている。

手数料—宿泊施設との関係

「最後に手数料の話をお願いしたい。宿泊業界はネットエージェントの力が伸びて、手数料率を引き上げていると危言を吐いている。」

ネットが手数料率をアップできない環境をつくれればよい。主導権は宿側にあり、大事なお客様は来ていただき喜んでもらうこと。

宿に主導権。すべきことある 選択肢は増加。常に危機感 客室在庫はオープン化進む

予約ができるサイトの選択肢は多くなり増えている。宿側の選択肢がいうと、もし楽トラベルが手数料を25%にしたら、宿は取引をやめてしまう。

富塚

岡武

社利益が上がる仕組みというものは、すべきことある。多くの人を送客できない限り、利用客からの手数料を25%に引き上げることは、じやらんさん、一体にすればいい。サイトは他にたくさんある。昔のリアルエージェントは寡占化していた。だから宿側の不満も増えた。

富塚

岡武

わななてはいいない。また今後、宿泊在庫はエージェント各社が宿に営業してうちに出して下すよ、という形態はなくなっていく。一力所がフルに客室在庫をあらゆる販売チャネルが共有して販売する、海外チェーンホテルのセントラル・リザーベーション・システム(ORS)、宿泊在庫中央管理システムのイニシカ。

富塚

岡武

表から見ると売方はインターネットの画面だが、後述しているのは、結局は地道な努力の積み重ねと人間関係。施設営業で全国をまわりのさまさま。二、三若い旅館経営者の声などもよく拝聴しながら、不断の改革を続けていた。



森氏

地域支援はリアルとも連携 店頭業務をネットで理想 インバウンドも徐々に拡大へ

「各地域のインバウンド」と感じてもらうのかを各地域に真剣に考えるべきだ。森さん、どうですか。森 素晴らしいご意見です。一休はまだ規模が小さいから、残念ながらそこまでできていない。

富塚 一言で国と違って別府市を見てほしい。立命館アジア太平洋大学(APU)におびたいたいの留学生が来ている。彼らは卒業後も親を連れてもう一回来る。留学生が起爆剤となって世界中からゲストが集まってくる。現状は東京、京都、箱根などに集中する。では、本場にこそ真剣にインバウンドに取り組んでいる地域で、紅葉の時期に箱根に行きたくても日本人客で満室で宿が取れない。京都の桜と紅葉の時も同じ。でも、外国人観光客はなかなか来ない。イメージを保持してしまっている。二度と外国人に訪れてもらえなくなる。

富塚 一言で国と違って別府市を見てほしい。立命館アジア太平洋大学(APU)におびたいたいの留学生が来ている。彼らは卒業後も親を連れてもう一回来る。留学生が起爆剤となって世界中からゲストが集まってくる。現状は東京、京都、箱根などに集中する。では、本場にこそ真剣にインバウンドに取り組んでいる地域で、紅葉の時期に箱根に行きたくても日本人客で満室で宿が取れない。京都の桜と紅葉の時も同じ。でも、外国人観光客はなかなか来ない。イメージを保持してしまっている。二度と外国人に訪れてもらえなくなる。

2010年 森のホワイトイルミネーション in 白樺湖. Advertisement for winter illuminations with various event details and photos of the site.